

○ 第1回江別市行政審議会専門部会（第2部会）での審議事項 「まちづくり政策」への意見に対する確認・検討結果の一覧

No.	資料3 対応 ページ	まちづくり政策	委員の意見（概要）	市の検討結果
1	P 3	03 福祉・保健・医療 (4) - ③	「高齢者福祉の充実」について、②に「介護予防と自立生活の支援」、③に「高齢者福祉サービスの充実」という記載があるが、今後一層介護サービスの安定供給が必要になる観点から、例えば、「要介護状態になっても」などの文言を加えてはどうか。	担当部局と協議の結果、ご意見の趣旨を踏まえて、まちづくり政策に反映することとしました。
2	P 4	06 子育て・教育	教育に関する「政策展開の方向性」について、少し固い感じがするため、表現を工夫できないか。	担当部局と協議の結果、ご意見の趣旨を踏まえて、まちづくり政策に反映することとしました。
3	P 4	06 子育て・教育	教育に関する「政策展開の方向性」について、前段の子育てに関する記載では「地域全体で子育てを温かく見守る」とされているが、教育に関する記載では、「地域」という記載がなく、学校が行う取組のみが記載されていることから、地域とも連携しながら教育を進めていくという文言を加えてはどうか。	
4	P 5	06 子育て・教育 (2)	「子どもの教育の充実」の中で、SDGsの取組を展開してはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の小中学校では、各校・各教諭の判断で総合学習の時間の中で、SDGsの取組に関する学習を行っております。 ・一方で、現在の学習指導要領には、SDGsについての記載がないことから、国の動向を見ながら取り組んでいきたいと考えております。
5	P 8	07 生涯学習・文化・スポーツ (2) - ②	文化財や歴史遺産などを適正に保存・継承していくことは大切であるが、魅力を知ってもらう機会を提供し、情報発信をしていくことが重要であると考えことから、その旨、記載してはどうか。	担当部局と協議の結果、ご意見の趣旨を踏まえて、まちづくり政策に反映することとしました。
6	P 9	08 協働・共生 (1)	<p>「協働のまちづくりの推進」全般について、江別市自治基本条例や協働を気軽に感じるができる表現にしてはどうか。</p> <p>(協働について：協働の取組は、気軽に自分たちが楽しいと感じ、これならできると思えるものに参加し、お互いに助け合うこと。)</p>	担当部局と協議の結果、ご意見の趣旨を踏まえて、まちづくり政策に反映することとしました。

○ 第1回江別市行政審議会専門部会（第2部会）での審議事項 「まちづくり政策」への意見一覧

No.	資料3 対応 ページ	まちづくり政策	委員の意見	意見の趣旨
1	—	全般	これからの我々の意識として、人口が減少していくこと、全体が縮小していく前提に立ちながら政策を考えていかないとならない。	今後10年間のまちづくりを行うに当たっては、人口減少を前提にした政策の展開に努められたい。
2	P 1	03 福祉・保健・医療 (1) -①	近年は、少子高齢化や核家族化、高齢者世帯の増加、さらには新型コロナウイルス感染症拡大による生活不安の増大などで、経済的に困窮している方が多く、社会福祉協議会に求められる役割は大きい。また、貸付や相談業務のほかに、権利を守る、成年後見制度の取組も進めている。 孤独死、引きこもり、80代の親が50代の子の生活を支えて一緒に暮らしている「8050問題」、成年後見制度への対応、高齢者や障がい者、児童への虐待など、貧困、福祉の課題は複雑化しており、支援には高い専門性が求められている。	「地域福祉活動の推進」について、少子高齢化や核家族化、高齢世帯の増加などによって、地域福祉の課題が複雑・多様化しているため、今後は地域におけるつながりがさらに重要になることから、地域全体で支え合い、助け合うまちづくりを進められたい。
3	P 3	03 福祉・保健・医療 (4) -①	高齢者を対象としたふれあい事業などもあるが、参加される方は元気な方ばかりで、外に出てこれない方や、あえて外には出ない、自宅で自分の好きなことをしたいという方もいるため、そのような方々へのケアも考えていかなければならない。	「地域交流と社会参加の促進」について、今後、さらに高齢化が進展するため、高齢者が生涯に渡って元気に活躍できるよう、多世代が気軽につながり、交流できる仕組みづくりや取組を推進するとともに、孤独・孤立を防ぐための支援の充実に努められたい。
4			高齢者の活躍する場がもっとあっても良いと思う。経験も豊富な高齢者が小学校や中学校に出向いて話をしたり、講演会までいなくても、何か講座的なものをする場があっても良いのではないか。	

○ 第1回江別市行政審議会専門部会（第2部会）での審議事項 「まちづくり政策」への意見一覧

No.	資料3 対応 ページ	まちづくり政策	委員の意見	意見の趣旨
5	P 4	06 子育て・教育	<p>子どもの世界ではデジタル化がどんどん進んでいるが、子育てや教育はデジタル化だけが進んでも不足する部分が多くある。デジタル化や学校施設の整備に努めるとあるが、子どもたちの気持ちや体を育てることも重要であるので、ただ単に、効率性や利便性の観点のみでデジタル化を進めないでほしいと思う。</p> <p>例えば、親子で遊べる広場の充実や、外で、みんなで遊べるプレイパークの整備など、体を全部使って遊べる環境を提供することも忘れないでほしい。</p>	<p>「子育て・教育」について、子どもの生活全般において、デジタル化が急速に進んでいるが、最も重要なことは、子どもの「こころ」と「からだ」が健やかに成長することであるため、親子がふれあい、楽しめる遊び場や子どもが元気にいきいきと遊び回ることができる環境の整備を進められたい。</p>
6			<p>ヤングケアラーの話がたびたび報道されるが、そういう子どもたちの現状は、教育現場で、どこまで把握できているのか。</p>	<p>「子育て・教育」全般について、ヤングケアラー（家事や家族の世話（ケア）などを、通常のお手伝いの範囲を超えて日常的にしている子ども）や不登校の児童生徒に対する支援は、今後、より一層重要になると考えるため、支援の充実に努められたい。</p>
7			<p>ヤングケアラー当事者である子どもの方から、相談することは難しいと思う。子どもが自分の時間を自由に使えないことなどからくる教育の格差は、世代間で繰り返されてしまうことが多いため、ヤングケアラーへの支援について力を入れてほしい。</p>	
8	P 4	06 子育て・教育 (1)	<p>市の財政の問題もあるが、医療費を18歳まで無償にする支援や、教育にかかる費用を義務教育まで無償にする支援などの大きな取組を行えば、若い世代への子育て支援となり、市内外問わず大きな関心を寄せることができるのではないかと考える。</p>	<p>「子育て環境の充実」について、子育て環境をより良くするためには、子育て世帯が抱える経済的な負担の軽減のほか、親子がいきいきと遊び、過ごせる場の提供など、あらゆる取組が考えられることから、子どもをはじめ、保護者や子育て支援に携わる方の声を広く聞き取り、寄り添いながら有効な取組を検討されたい。</p>
9			<p>今はコロナ禍であるため、なおさらだと思うが、子どもの遊び場が欲しいという声を耳にする。「ぽこあぽこ」は大人気で、とても良い施設だと思うが、その他にも、親子で遊べる場が求められている。それは、子どもの医療費を無償にすることよりも、予算的に少なく整備できるのではないかと考える。</p>	

○ 第1回江別市行政審議会専門部会（第2部会）での審議事項 「まちづくり政策」への意見一覧

No.	資料3 対応 ページ	まちづくり政策	委員の意見	意見の趣旨
10	P 4 ・ P 9	06 子育て・教育 (1) - ② 08 協働・共生 (1) - ④	親子の広場など、子育てボランティアの運営に当たって、もう少し、市から何らかの力添えがないと、活動を進展したいと思っても、ボランティア精神だけでは乗り越えられない部分がある。善意だけでは続けていくことも難しいため、いろいろな配慮をいただけるとありがたい。	「地域子育て支援の充実」や「市民活動の推進と相互連携」について、子育てを支えるボランティア活動を長期に継続するためには、人的・経済的な課題があることから、子育て分野におけるボランティア活動、ひいては、全てのボランティア活動が市内で安心して活動できるよう、支援の充実に努められたい。
11	P 4 ・ P 7	06 子育て・教育 07 生涯学習・ 文化・ スポーツ	どんな子ども、経済的格差なく、スポーツや文化活動ができるのは部活動だと思う。ただ、今、中学校の部活動はどんどん減っており、先生方の負担も大変なものがあるため、学校と地域が連携して、子どもたちのために、部活動を維持できる取組を進めてほしい。	「政策06 子育て・教育」と「政策07 生涯学習・文化・スポーツ」について、中学校の部活動は、充実した学校生活を送るための重要な活動であることから、部活動を指導している教員の負担軽減に努めるとともに、地域との連携を深めることができるよう、検討されたい。
12	P 8	07 生涯学習・ 文化・ スポーツ (3) - ①	数年前から、本州からスポーツ合宿を誘致していたが、今後も合宿誘致に力を入れていくのか。また、この間の東京オリンピックであったように、江別市に外国のチームが来て練習するなど、子どもたちや市民に国際的な大会を体験をさせるという取組も、今後、検討していただきたい。 そのほか、スポーツを通して、その市が盛り上がり、市民に活気を与えることができるような状況になっていけば良いと思う。	「スポーツ機会の充実」について、市民が、スポーツを通じてプロや海外代表のチームなどで活躍するトップアスリートと交流するほか、一生懸命に取り組む市内スポーツチームや団体を取り上げてPRするなど、江別市をスポーツで盛り上げ、元気で活気を感じられるまちづくりに努められたい。
13			江別市発祥でグリーンボールというスポーツがあるが、もう少し宣伝してみてもどうか。	「スポーツ機会の充実」について、江別市発祥のスポーツを楽しめる施設をはじめ、さまざまな季節を通じてスポーツの機会を提供していることについて、積極的な情報発信を行いながら、市民がスポーツ活動により親しめる環境づくりに努められたい。
14	P 9	08 協働・共生 (1) - ③	情報の受取り方一つでも昭和、平成、令和と世代間で異なっている。それぞれ思いを持っており、楽しいことをやりたい気持ちはあり、やる気のある方も地域に必ずいる。 30年、40年前から同じようなことを、同じようにやっているだけでは、地域活動の維持は難しいと思うことから、地域を支えている運営サイド、思いを持って取り組んでいる側の体制や発想を変えていかなければならないと思う。 今後、地域活動の必要性はますます高まるため、世代間をつなぐ方法や連絡方法、発想なども世代間で対話を重ねながらうまくやれば、江別市における地域活動が活性化する素地は十分あると思う。	「地域コミュニティ活動の推進と相互連携」について、今後、少子高齢化や人口減少に伴い、地域活動の必要性がますます高まることから、地域に暮らす、さまざまな年代や立場の方との対話を通じて気軽に参加できる仕組みをつくるなど、子どもから高齢者まで、全世代が地域でつながることができる環境づくりの支援に努められたい。